

【科目名】基礎運動療法学		【担当教員】星野浩通							
【授業区分】専門分野(基礎理学療法学)		【授業コード】 3-15-0550-0-1		(メールアドレス) <a href="mailto:hoshino@nur.ac.jp">hoshino@nur.ac.jp</a>					
【開講時期】2年次 前期		【選択必修】必修		(オフィスアワー) 随時					
【単位数】1単位		【コマ数】15コマ							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 運動療法を理解する上で解剖学・生理学・運動学の基礎知識は非常に大切である。この講義では基礎知識の復習と運動療法との結び付けを行う。そのため、骨学、筋学、神経学、靭帯学などを各自でも十分に復習すること。講義中は脱帽、飲食を禁止する。私語等、講義の妨げになる行為を行った場合は定期試験より減点する。									
【講義概要】 (目的) 運動療法は運動機能障害に対するものだけにとどまらず、生活習慣病など疾病予防や介護予防、さらにはヘルスプロモーションの領域にまで拡大しつつある。基礎運動療法学はこのような運動療法の歴史、経過を踏まえ、運動療法の目的、対象、適応、疾病と運動療法の原理・理論について学修することを目的とする。 (方法) 運動療法の基礎知識を教科書に沿って理解を深め、理解度を確認するために間に確認試験を設ける。必要に応じて実技も行いながら講義を進める。									
【一般教育目標(GIO)】 運動療法の原理、目的、種類、効果が理解できる。									
【行動目標(SBO)】 運動と身体の機能の関係を理解できる。 運動療法の実施方法を理解できる。									
【教科書・リザーブドブック】 神稜文庫 理学療法学テキストⅢ・運動療法Ⅰ(第2版) 4,860円									
【参考書】 医学書院 医学大辞典 文光堂 図解理学療法技術ガイド(第3版) 9180円									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 試験日：教務より通知 定期試験、演習時の発表とポートフォリオ 以下の基準に準じる									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		50			40		10		100点
評	取り込む力・知識	40							

平成 26～28 年度入学者用

価値指標	思考・推論・創造の力	10						
	コラボレーションとリーダーシップ				20			
	発表力				20			
	学修に取り組む姿勢						10	
<b>【授業日程と内容】</b>								
回数	講義内容	授業の運営方法		学修課題(予習・復習)	時間(分)			
1	運動療法について概論 授業の進め方	講義		なし				
2	神経について 末梢神経と中枢神経の機能の理解	講義		細胞・神経細胞の役割・機能	10			
3	神経について演習 各グループで調べ、発表	講義		発表準備	60			
4	筋について 筋の構造と筋収縮	講義		上肢筋の触診	10			
5	筋について演習 各グループで調べる。発表	講義		発表準備	60			
6	骨について 骨の構造の理解	講義		骨の数を数える	10			
7	骨について グループで調べ。発表	講義・演習		発表準備	60			
8	関節について グループで調べ、発表	講義		全身の関節を 1 回以上動かす	10			
9	運動の様式についての違い	講義		階段の上り下り	10			
10	関節可動域運動について	講義・演習		関節可動域運動	10			
11	関節可動域運動について 演習	講義		発表準備	60			
12	筋力増強運動について	講義・演習		筋力訓練方法	10			
13	筋力増強運動について 演習	講義・演習		発表準備	60			
14	全身調整運動・機能回復運動及びリラクゼーション運動	講義・演習		全身調整運動、リラクゼーション運動	10			
15	協調性の改善	講義・演習		協調性運動障害	10			

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。